

## 第4回室蘭地区小学生チーム対抗バドミントン大会 要綱

室蘭地区選手の試合による交流を通して子供たちの健全育成に資するとともに、バドミントン競技の普及・発展のため開催するものです。また、公式戦であり経験できない団体戦とすることで、チームや仲間との共助の意識を育てることに資するものです。

主催 伊達市バドミントン協会・伊達市バドミントンスポーツ少年団及び育成母集団  
日時 令和6年1月20日（土）午前8時開場、受付～開会式～競技開始  
会場 伊達市総合体育館「あかつき」（伊達市松ヶ枝町34-1、管理者：NPO 法人伊達市体育協会 TEL 0142-23-8600）  
種目 団体戦 ※全種目とも男女混合可。  
1部～学年問わない。  
2部～学年問わない。  
3部～小学4年生以下。

この要綱における言葉について

団体：所属チームのこと

例：伊達市バドミントン少年団

チーム：エントリーチームのこと

例：伊達A、伊達B、伊達C

指導者：団体の代表者のこと

例：伊達少年団の小笠原正光

監督・コーチ：エントリーチームの

責任者のこと

例：伊達Aの監督・コーチ

予選リーグ戦を行い、上位進出チームによる決勝トーナメントを予定。申込数にもよるが4チームで1ブロックとして予選リーグを行う。

競技要綱 (1) 試合順は、複→単1→単2とする。  
(2) 各種目の競技レベルは1部を最上位とし、2部、3部と低くなっていくものとする。出場チームの競技レベルの判断は下枠を参考のうえ、判断いただきたい。

競技レベルの判断について

1部：全道大会に出場可能レベルの選手が半数以上を占めるチーム

2部：一定の経験を有するが全道大会出場を果たせていない選手以下で構成されているチーム

3部：初心者・初級者レベルの選手で構成されているチーム（4年生以下）

(3) 複について男女混合も可。同一選手が単・複あるいは単1・単2を兼ねることはできない。

チーム編成 監督1名・コーチ1名・選手4名以上。他団体との混成も可。

競技規則 現行（財）日本バドミントン協会競技規則および大会運営規定並びに公認審判員規定による。全試合15点（最大21点）3ゲームマッチを予定するが、参加チーム数によってはポイント制限なしで実施する事もあり得る。

使用器具 現行日本バドミントン協会検定合格水鳥球及び検定合格用器具を使用する。

競技方法 各種目ともトーナメントにより行うがリーグ戦の場合もありえる。

審判・進行 (1) 主審及び線審は対戦チームによる相互審判制を原則とする。低学年等の場合は高学年や保護者の補助を可能とする。

(2) チームは試合前にオーダーを提出すること。オーダーについては各チームの監督・コーチが記入・提出を行うことを原則とし、この各チームの監督・コーチについて、団体指導者のほか保護者や高校生・中学生も担えることとし、複数チームの兼任も可とする。

(3) 大会進行は伊達の保護者に担っていただく予定。

参加資格 保護者の許可を得て、大会当日は団体指導者・保護者が引率できる小学生。

参加料 1チーム4千円。

組み合わせ 主催者で一括して行います。

公開練習 主催者で会場設営を行い設営終了後から。団体もしくはチーム単位で参加人数に応じてあらかじめ割り振ります。

申込方法 (1) 所定の用紙にランク順に記入する。郵送またはEメールにて提出を。

(2) 申込締切 令和6年1月8日（月）

(3) 申込及び問い合わせ先 伊達市バドミントンスポーツ少年団

〒052-0013 伊達市弄月町52-44 小笠原 正光

Eメール ohgassa@gmail.com

携帯電話 090-3774-5860

- その他
- (1) 参加選手は、背面中央部にゼッケンを付けること。
  - (2) 表彰は3位までと予定していますが、大会組み合わせの関係上変更する場合があります。
  - (3) 主審・得点・線審については対戦チーム相互で担うことを想定しています。



## 【監督・コーチ・選手の皆さんへ】本日の大会・試合の流れ

### ①オーダー用紙の作成

オーダー用紙は、ダブルス、第1シングルス、第2シングルスに誰を出場させるのかをあらかじめ本部に知らせるものです。でも対戦相手のオーダーは試合直前にならないとわかりません。

試合では1試合につき一人1回しか出場できません。例えば上手なAさんがダブルスとシングルスに出る、といったことはできないので、チームのメンバーと相談して決めましょう。オーダー決定については各チームの監督が責任を持っていただきます。

### ②試合の前に

チームのメンバーがそろっていることを確認しましょう。コートに持ち込める持ち物は通常の大会と同じです。人数が多いので整理整頓を。線審を控えの選手がやっても保護者さんをお願いしてもかまいません。

### ③試合開始の時

試合のコールがされたら、試合結果を書き込むスコア用紙をどちらかのチームのキャプテンが本部席に受け取りに行きます。そのキャプテンは、試合前のあいさつ・握手、主審決めのじゃんけんを行わせて、主審兼得点係を行うチームを決めましょう。

主審兼得点係は、Aチーム対Bチームの時、

ダブルス                      主審Bチーム

第1シングルス              主審Aチーム

第2シングルス              主審Aチーム

というようにダブルスとシングルで分けるとか、交互に担当するとかキャプテン同士で話し合ってください。

線審はそれぞれのチームで一人ずつ担当しましょう。

試合は必ず、ダブルス→第1シングルス→第2シングルの順で行います。予選リーグもその後のトーナメントも、先に2勝して勝敗が確定しても3試合目を行ってください。また、学年性別に関係なくすべての試合が15点3ゲームマッチです。

### ④試合が終了したら

忘れ物がないことを確認して、次の試合のために速やかにコートを空けましょう。

### ⑤その他の注意

- ・外ぐつの間違いをなくすために、観客席に持ち込みましょう。
- ・大会進行が遅れるときは、中央の2コートも試合に使用して、いわゆるコートを開いて試合を進行する予定です。